

第9回 大阪 880 万人訓練
(令和2年9月4日(金))

報告書

令和3年2月

大阪880万人訓練 実行委員会事務局

訓練概要

1 実施日時

令和2年9月4日（金）

- ・午前9時30分：地震発生（屋外スピーカーや館内放送などでお知らせ）
- ・午前9時33分頃：大津波警報発表（訓練用のエリアメール／緊急速報メールなどでお知らせ）

2 訓練の目的

府民のみなさんが、様々な情報源から地震・津波発生情報入手し、地震・津波発生時に自らの身を守る行動に繋がるように、防災意識の向上を図ること。

3 訓練の想定及び方針

想定：南海トラフ巨大地震

方針：①『エリアメール／緊急速報メール』を活用した市町村による情報発信訓練の拡充

②市町村、学校、民間企業等における連動訓練の普及促進

③広報媒体や SNS 等を効果的に活用した訓練の事前周知を実施

4 訓練情報発信ツール

- エリアメール／緊急速報メール（携帯電話会社の防災情報サービス）
- おおさか防災ネット：防災情報メール、防災 Twitter
- 大阪府公式：Facebook、Twitter、LINE
- Osaka Safe Travels（外国人旅行者向けスマートフォンアプリ）
- Yahoo! JAPAN 防災速報アプリ
- NTT ドコモ地震防災訓練アプリ

※各対応機種別、登録者等に向けて発信 [詳細等は、資料集参照]

訓練結果

【訓練開始の合図（メール通知による伝達等）】

- 9時30分に地震発生、9時33分に大津波警報発表という想定により、9時33分頃に大阪府からエリアメール／緊急速報メールを発信するという形で実態に即した訓練を実施した。
- 第2回から実施している市町村による訓練情報メールの発信は、今回40市町村（府下43市町村中において）が実施した。
（第8回は40市町村、第7回は中止、第6回は41市町村、第5回は39市町村、第4回は36市町村、第3回は33市町村、第2回は18市町村）
- 今回の訓練登録者数（個人・団体）は、190件で、昨年度の1.5倍（昨年度は127件）となり、登録者数が大幅に増加した。
（第8回：127件、第7回：78件）

〔参考〕昨年度までのアンケートによる結果は以下のとおりである。

- エリアメール／緊急速報メールの覚知率（訓練開始の合図を受け取った割合）や認知率（毎年このような訓練が行われていることを認識している割合）は、今回、「おおさか Q ネット」によるアンケートを実施していないため、確認できていない。
- 昨年度のアンケート結果によれば、覚知率は 81.8%（第 6 回：74.5%）と 8 割を超え、大阪のような大都市では、携帯電話等が緊急時の災害情報の伝達手段として有効であることを確認している。
- 同様に認知率は 73.0%（第 6 回：69.4%）であることを確認している。
- 昨年度の訓練が 9 月 5 日午前 11 時にあることを事前に知っていた割合が 38.2%（第 6 回：45.8%）、同メール受信後の訓練参加率は、20.0%（第 6 回：20.3%）とされ、低い状況であった。

【事前広報による取組】

これまでと同様、府及び市町村における利用可能なツールを最大限に活用したほか、様々な企業等とのタイアップによる広報活動を行った。具体的には、府政だより（9 月号）や各市町村広報誌への掲載、府・市町村ホームページや府の Facebook・Twitter・LINE への掲載、大阪府チャンネル（9/3）や FM もりぐち（8/28）での番組出演による PR 告知、知事定例記者会見等の様々なツールを活用して広報を行った。

また、各公共交通機関（鉄道・バス・タクシー）においては、車内・構内放送やポスター等掲示、ラジオ放送局各社における番組内での告知、さらにスポーツ新聞やミニコミ誌等への掲載や集客力のあるスタジアム等に協力を求め、各企業が保有するデジタルサイネージ・大型モニターといった広報媒体を活用して多くの府民の目に留まるよう、幅広い場所・タイミングでの効果的な広報活動を展開した。

特に今回は、Twitter による SNS を活用した府民への参加呼びかけ等に新たに取り組み、訓練前後の情報配信を展開したことで数多くの反応（ツイート）が得られた。

《主な広報取組内容等》

- 紙媒体を活用した広報
公益財団法人 日本公衆電話会（うちわ）、りそな銀行（各支店でのリーフレット配架）、産経新聞社（サンケイスポーツ）、報知新聞社（スポーツ報知）、日刊スポーツ、デイリースポーツ、サンケイリビング新聞、トヨタ自動車（ポスター）、府（市）政だより等
※民間企業等とのタイアップとして、第 3 回から継続してご協力をいただいている、三井住友海上火災保険(株)、学校法人 日本教育財団 大阪モード学園とのタイアップポスター・リーフレット制作については、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止することとなった。
- デジタルサイネージを活用した広報
大阪モレール各駅、JR 大阪駅構内、ポートピア梅田、大阪ターミナルビル、（株）ハークスレイ、Jリーグサッカースタジアム（パナソニックスタジアム吹田）、エキスポシティ、大阪信用金庫等
- ラジオ放送による広報
 - ・FM もりぐち（FM-HANAKO）：番組出演による広報を実施
 - ・FM 8 0 2（FM COCOLO）、大阪放送（ラジオ大阪）：番組内での広報を実施

□ 駅・その他の街頭における広報（ポスター、デジタルサイネージ）



JR 大阪駅（構内）



大阪ステーションシティ（アトリウム広場）



大阪ステーションシティ（カリヨン広場）



大阪ステーションシティ
（NGB 3階インフォメーション）



大阪ステーションシティ（御堂筋南口）



大阪メトロ（東梅田駅）



大阪モノレール（千里中央駅）



大阪モノレール（公園東口駅）



HURXLEY HOKKA VISION（新御堂筋方向）

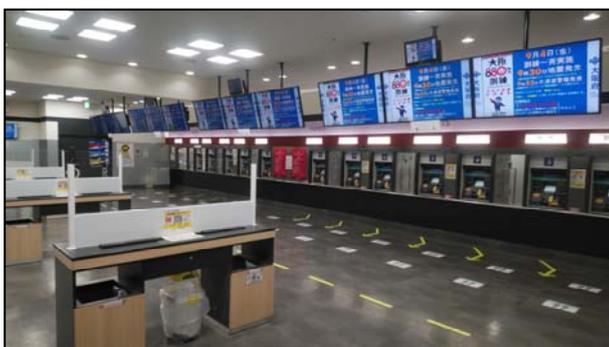
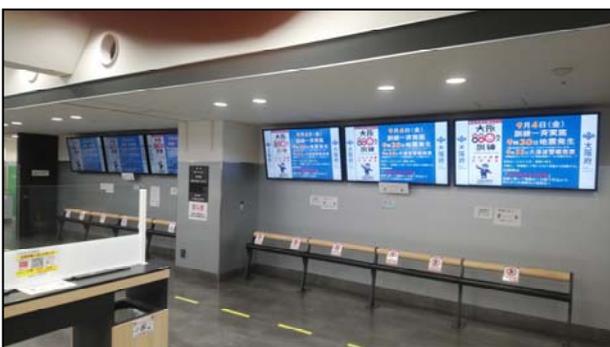
□ 集客施設における広報（ポスター、デジタルサイネージ）



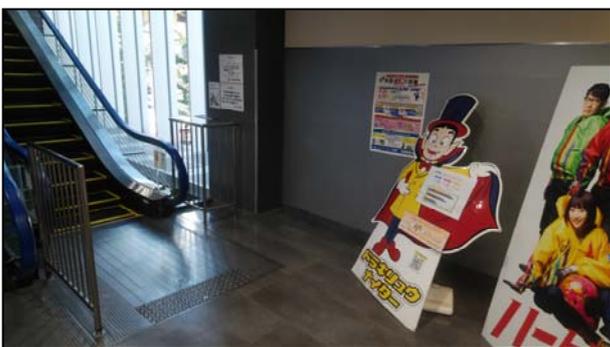
パナソニックスタジアム吹田（大型ビジョン）



パナソニックスタジアム吹田（デジタルサイネージ）



ポートピア梅田（ポートレース場外発売場）



ポートピア梅田（エスカレーター前）

ポートピア梅田（1階ショーケース）

□ 物品販売店舗、信用金庫における広報（デジタルサイネージ）



ららぽーと EXPOCITY (各階)



大阪信用金庫（各支店）

□ 「大阪府チャンネル」での告知 P R（9月3日）



□ 大阪府知事の訓練参加

泉大津市と防災協定を結んだ住友ゴム工業株式会社にて、避難訓練に参加し、避難所運営状況の視察、情報伝達訓練（「災害モード宣言」の発信及び LINE WORKS による幹部指示）を実施した。



「住友ゴム工業株式会社泉大津工場」を訪問し、コロナ禍における避難所の説明を受ける吉村知事



「泉大津市」と協定を結んだ「住友ゴム工業株式会社泉大津工場」の体育館で避難所運営状況を視察



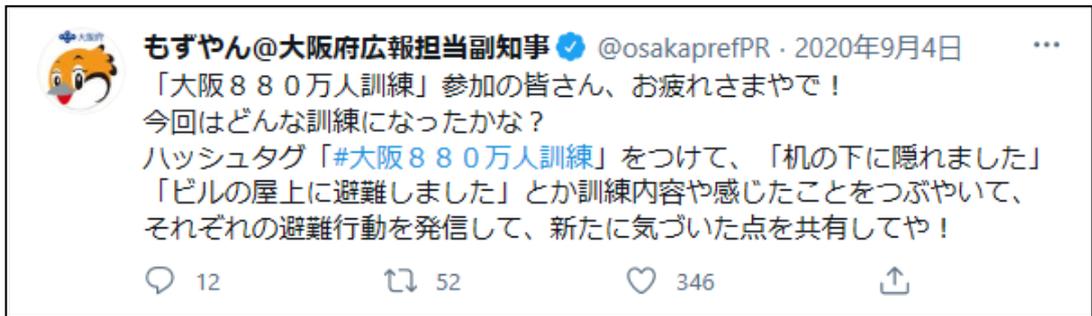
身を守る行動を取った後、情報伝達訓練として「災害モード宣言」の発信、「LINE WORKS」による幹部への指示を実施

□ SNSによる訓練情報の配信

(大阪防災ネット、Osaka Safe Travels、大阪府ホームページ等)



おおさか防災ネット（訓練前・訓練後に配信 Twitter 文面イメージ）
1 つぶやき文 9/1（火）～ # 2 つぶやき文 9/4（金）



もずやん Twitter（訓練後文面）

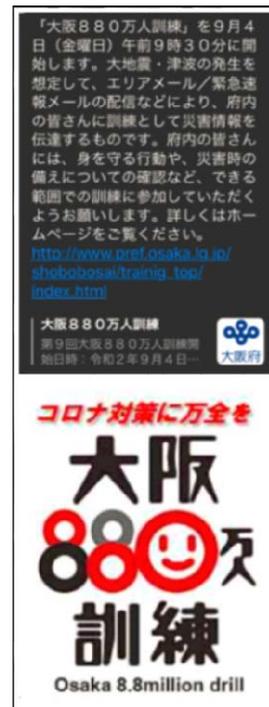
【SNSに対する反応】

- ・ 訓練開始前後におけるツイート数の推移
9/1：20件、9/2：66件、9/3：81件、9/4：713件、9/5：1,748
合計2,628件
- ・ 訓練への呼びかけに対する反応（#大阪880万人訓練を付して呼びかけ）
つぶやきの数：293件
つぶやきの時期：訓練前96件、訓練当日27件、訓練後170件
つぶやきの内容等：肯定的27件、否定的11件、びっくりした83件、うるさい9件、その他163件

【 各 SNS による発信内容 】



大阪府公式 Facebook (事前のお知らせ)



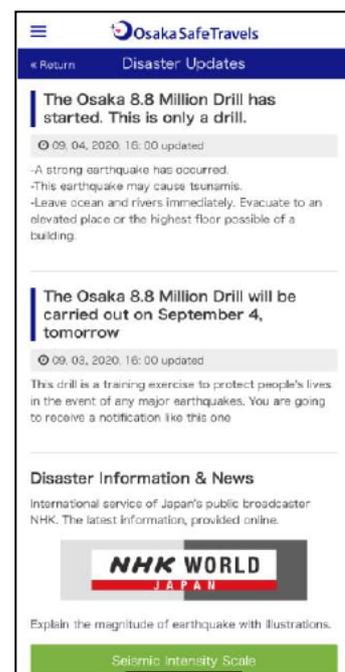
大阪府公式 LINE (事前のお知らせ)



大阪府公式 Twitter (事前のお知らせ)

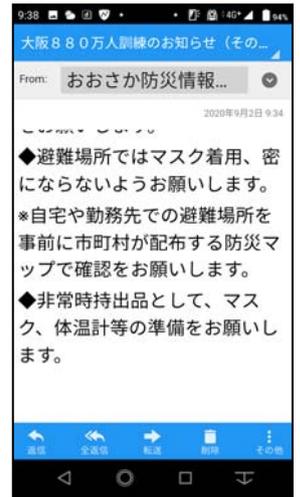
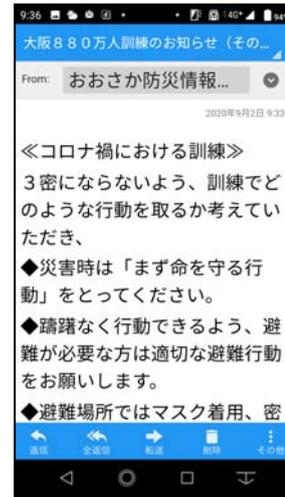
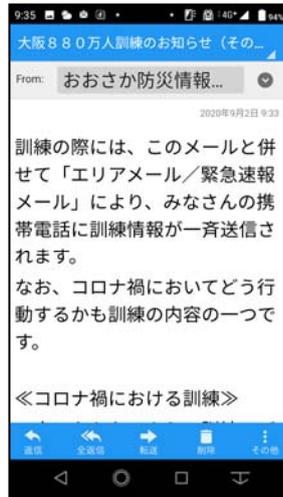
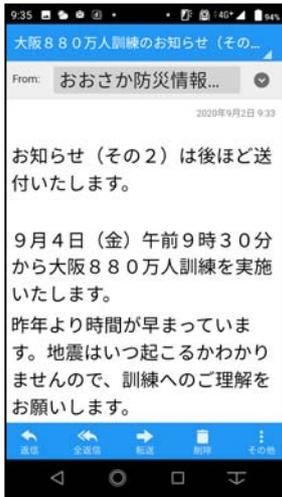


Osaka Safe Travels
(左から、トップ画面、前日告知、訓練開始告知 (各英語版))

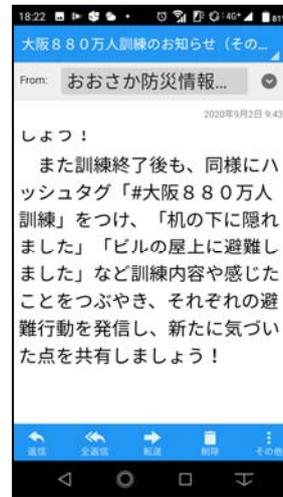
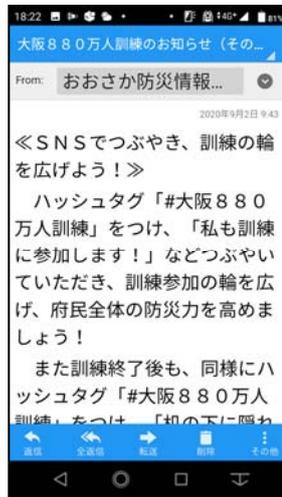
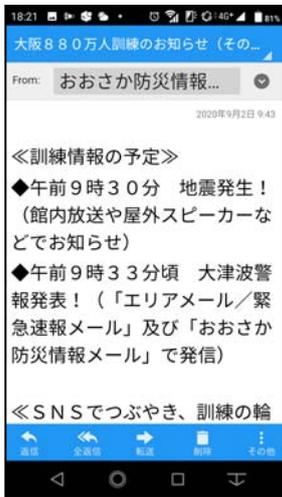


□ 各メールを利用した広報

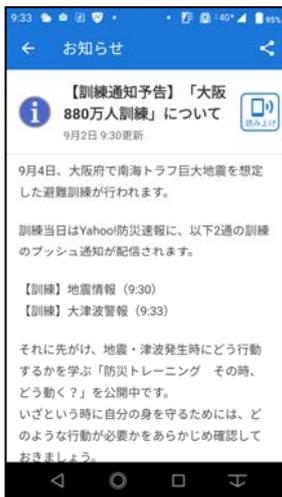
(エリアメール/緊急速報メール、防災情報メール、Yahoo! JAPAN 防災速報)



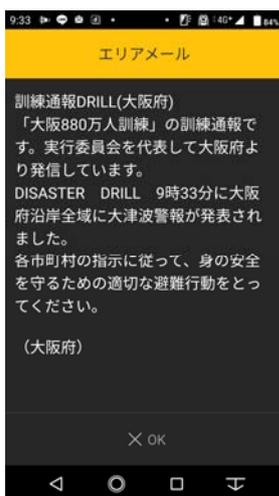
防災情報メール (9月2日 事前のお知らせ その1)



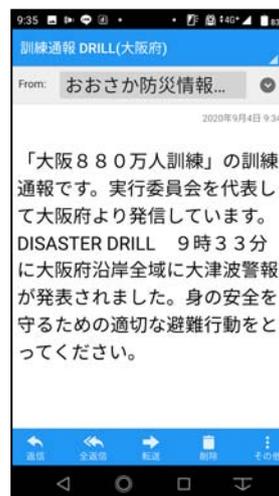
防災情報メール (9月2日 事前のお知らせ その2)



Yahoo! JAPAN 防災速報 (9月2日 事前のお知らせ)



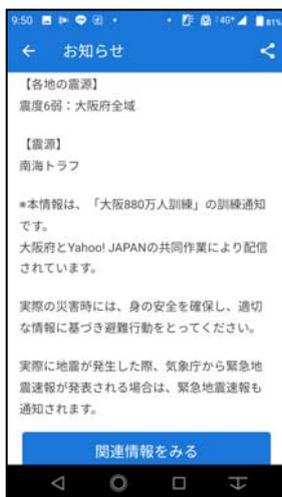
エアメール/緊急速報メール（大阪府発信）
9月4日 訓練当日



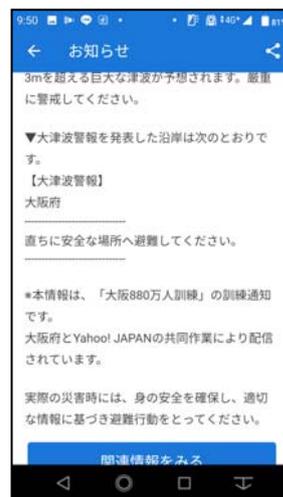
防災情報メール
9月4日 訓練当日



Yahoo! JAPAN 防災速報
9月4日 訓練当日
(9時30分地震発生のお知らせ)



Yahoo! JAPAN 防災速報
9月4日 訓練当日
(9時33分大津波警報発表のお知らせ)



【訓練への参加（登録）状況】

○ 訓練参加事前登録の実施状況

『大阪880万人訓練』は、平成24年度に初めて実施し、当初は、訓練メールが届かないなど苦慮する時期もあったが、継続的に実施し、更に今年度は、SNS（Twitter、Facebook、LINE）やYahoo!等を活用した訓練参加呼びかけを幅広く行い、訓練メールをきっかけにした安否確認など運動訓練に取り組む市町村、学校、企業等が増加することとなった。【詳細等は、資料集参照】

□ 訓練登録団体の紹介 190団体

| 参加登録団体一覧 |
|---|
| 各種団体(企業・団体、学校、地元自治会、府庁組織、市町村)の取組状況 |
| 職場や学校、自治会など、みなさんが実施する訓練の取り組みをここで紹介しております。 |
| 企業及び団体 |
| 一般社団法人大阪府歯科技工士会(参加人数:1,000人)『当会では、大阪880万人訓練に合わせて「安否確認訓練」を実施します。』 |
| 門真陸運株式会社(参加人数:49人)『わが社では、訓練合同に合わせて、社員の安否確認を行います。』 |
| 西台運輸株式会社(参加人数:25人)『わが社では、訓練合同に合わせて、社員の安否確認を行います。』 |
| 昭和コンクリート工業株式会社 大阪支店(参加人数:20人)『我が社では、【大阪880万人訓練】に合わせて避難訓練を実施し、実際の災害時にも落ち着いた行動が取れるようにいたします。』 |
| イビデンケミカル株式会社 高石事業所(参加人数:20人)『わが社では、大阪880万人訓練に合わせて「防災訓練」を実施します。』 |
| 株式会社アロートラストシステムズ(参加人数:180人)『わが社では『大阪880万人訓練』に合わせて、安否確認システムを活用した従業員の安否確認訓練を実施します。』 |
| 株式会社メテックス(参加人数:4人)『わが社では、大阪880万人訓練に合わせて避難訓練を実施します。』 |
| 大阪府生活協同組合連合会(参加人数:30人)『安否確認訓練と避難訓練を実施します。』 |
| 大阪北運輸株式会社(参加人数:30人)『わが社では、大阪880万人訓練に合わせて安否確認訓練を行います。』 |
| 株式会社 セブンイレブン・ジャパン 関西ゾーン(参加人数:300人)『わが社では、訓練当日に所属社員へ大阪880万人訓練メールの直後わが社からの訓練メールにて1.訓練行動について2.避難場所、避難経路の確認、3.備蓄品の必要性を共有いたします。』 |
| 医療法人同愛会新堂診療所(参加人数:30人)『大阪880万人訓練に合わせて、緊急地震速報への対応訓練を行います。』 |
| アヴェク南森町(参加人数:23人)『アヴェク南森町では、大阪880万人訓練合同に合わせて、利用者及び支援員の安否確認を行います。』 |
| 高石ケミカル株式会社(参加人数:14人)『わが社では、大阪880万人訓練に合わせて避難訓練を実施します。』 |
| 株式会社加島(参加人数:34人)『わが社では、大阪880万人訓練に合わせて避難訓練を実施します。弊社制定のBCPを基に避難場所までの手順の確認を行います。』 |

～ 以下資料集参照 ～

| 学校関係 |
|---|
| 学校法人大阪慈光学園中野幼稚園(参加人数:120人)『保護者への引き渡し訓練、炊き出しの訓練を行う予定です。』 |
| あい・あい保育園 阿波座園(参加人数:27人)『あい・あい保育園 阿波座園では、大阪880万人訓練に合わせて避難訓練を実施します。』 |
| 社会福祉法人 和秀会 東光こども園(参加人数:217人)『東光こども園では毎年、大阪880万人訓練にあわせて、近隣の中学校と協力して避難訓練を実施します。給食はその日の材料を使い、豚汁を作り、5歳児は子ども達が自分で握ったラップにぎりを園庭で食べます。地域全体でこの訓練を活用し、一緒に実施できるようにがんばりたいと思います！！一緒に参加しましょう！！』 |

～ 以下資料集参照 ～

| 地元自治会、自主防災組織など |
|--|
| Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体(参加人数:30人)『Team7043では、訓練合同に合わせてアマチュア無線の電波(439.34MHz FM)レピータ8 短波帯7.050MHz SSB 非常通信周波数)を使って大阪府内局と近隣県8国内局との交信を試みます。またWebロールコール(ハッシュタグ#情報、#報告、#支援、#要請)を使いSNSを利用して電文伝達訓練を行います。』 |
| 夕陽丘セントポリア管理組合(参加人数:198人)『わがマンションでは、訓練合同に合わせて「身を守る行動」「安否確認」「館内点検」を行います。』 |
| 吹田市山田小川自治会(参加人数:130人)『各自で災害プラス、新型コロナウイルス感染症対策を考えてもらう。非常持ち出しバッグ内にもコロナ対策品をプラスしてもらう。体温計・除菌用アルコール除菌スプレー・マスク等を準備してもらう。』 |

～ 以下資料集参照 ～

□ 大阪府庁、各市町村の取組内容

府庁組織、市町村の取組状況については、資料集に掲載

□ 訓練登録団体の訓練取組状況（順不同）

《 企業及び団体 》 登録数 97 団体

| | |
|---|---|
| <p>名称：株式会社メテックス（商社）</p> <p>弊社では、訓練実施前の朝礼で、大阪 880 万人訓練について説明し、エリアメール/緊急速報メールの受信に合わせて、身を守る行動（机の下に隠れる）、避難訓練を実施しました。</p> <p>訓練後は、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）点検を実施し、整理、整頓を優先的に行いました。これからも、毎年参加し、防災を高めていきたいと考えます。</p> |  |
| <p>名称：社会福祉法人 白寿会（福祉・介護）</p> <p>当会は、災害対策本部を立ち上げ、全部所で初動期の確認と本部への連絡訓練を実施しました。</p> <p>また、津波を想定した垂直避難訓練を施設 1 階から 3 階までの歩行での避難、車いすやリクライニング車いすの方の垂直避難を職員がモデルとなり、安全を確保しつつ、時間を図って実施しました実際に体験してみるとわかったこと、修正が必要な点などを見出し、有事に備えてまいります。</p> <p>訓練詳細については、当法人のフェイスブックに掲載しております。</p> |  |
| <p>名称：大阪母子医療センター 母性棟</p> <p>「大阪 880 万人訓練」に合わせて産科外来・病棟において、医師や看護師、妊婦さんや褥婦さんも一緒に、ヘルメットやレスキューママなどの防災グッズを使用して避難をしました。スタッフはアクションカードや「災害状況の入力システム」の実施、実践しながらの訓練で身が引き締まる思いがしました。当日の妊婦さんに「母と子の防災パンフレット」を配布し、平時からの備えが重要と意識してもらえた訓練でした。</p> |  |
| <p>名称：医療法人廣仁会 じきはらこどもクリニック</p> <p>コロナ禍にある今年は 3 つの密を意識しながら地震の揺れから身を守る方法の説明・訓練を行いました。大阪 880 万人訓練に合わせて、職員と患者様が一緒に、身を守る行動の一つである「ダンゴムシのポーズ」を取ったり、持ち物のお話、安否確認訓練を実施しました。</p> | |
| <p>名称：株式会社拓和 大阪支店（製造販売）</p> <p>「大阪 880 万人訓練」に合わせて身を守る行動（机の下に隠れる）を取り、その後非常階段を使い一時避難場所である小学校まで、マスクを着用して、非常袋を持ち出し、フィジカルディスタンスを確保しながら避難訓練を実施しました。（訓練実施前には、検温を実施） また、SNS での安否確認訓練と、災害用備蓄物資の確認も行いました。訓練後は反省会を行い、浮き彫りになった課題解決のために議論し、有事に備えました。</p> |  |
| <p>名称：月盛工業株式会社（製造販売）</p> <p>弊社は、訓練前に災害マニュアルの配布、各部所の代表者事前会議を実施し、初めて大阪 880 万人訓練に参加しました。訓練後は、「災害時に優先度を考慮した手順の修正、工場サイレン音の変更や手動鳴動の方法、安否確認の方法、救急用品の置き場所、冷静を保つ事」等課題が浮き彫りになったため、検証を重ねて有事に備えます。</p> |  |

| | |
|---|--|
| <p>名称：デュープロ株式会社（製造販売、システム開発等）</p> <p>弊社では、大阪 880 万人訓練に合わせて社員の安否確認をテスト的に行いました。不備、不徹底な箇所が見つかり、今後改良を加えていきたいと考えております。</p> | |
| <p>名称：株式会社 前田組（建設業）</p> <p>大阪 880 万人訓練に合わせて、lineworks のアンケート機能を使用し、弊社 BCP プログラム内の安否確認訓練を実施しました。</p> <p>また、社内備蓄品・ハザードマップの確認も行い、以前から全社員が携帯している防災カードを更新して社員に配布しました。</p> |  |
| <p>名称：ミライエ堺筋本町（就労移行支援事業所）</p> <p>大阪 880 万人訓練に合わせて、避難訓練を実施し、「地震により電気やエレベーターが止まった」時を想定して、事業所がある 8 階から 1 階まで非常階段で避難しました。発災直後には、停電した状態でかなり暗くなること、他の階の方たちが一斉に階段を利用する状況も想定され、階段での避難の難しさを考えさせられました。また、翌日には防災食を試食しました。</p> |  |
| <p>名称：株式会社 ACT マーケティング</p> <p>ACT マーケティング大阪本社におきまして、今回初めて BCP 活動の取組みとして「大阪 880 万人訓練」に参加させて頂きました。コロナ禍の中でありましたので密を避けながらになりましたが社内でする範囲の訓練を実施致しました。いざと言うときのことを考え、今後も引き続き訓練を行って参りたいと思っております。</p> |  |
| <p>名称：訪問介護事業所</p> <p>従業員は、各訪問先で利用者様に訓練事前説明を行った上で、サービス中に大阪 880 万人訓練に合わせて、171 災害時伝言ダイヤルを使い、安否確認訓練を実施しました。</p> <p>また、今年は、エリアメール/緊急速報メールの届かない兵庫県内の支店も含めて、弊社の近畿エリア全体で訓練を実施しました。訓練内容は、本店に本部を設置し統括エリア長へ各支店が報告を挙げるというもので、現場のヘルパーさんは、常勤非常勤に関わらず 171 での伝言を確認し、事業所へつなぐ作業を行いました。</p> | |

《 学校関係 》 登録数 66 団体

| | |
|---|---|
| <p>名称：羽曳野市立高鷺南小学校</p> <p>本校では、各教員が自分のスマホを各教室へ持ち込み、9 時 33 分のエリアメール/緊急速報メールの受信に合わせて、児童と一緒に身を守る行動（机の下に隠れる）や避難経路の確認等を行いました。</p> <p>また、本校緊急メール配信サービスに登録の保護者には、訓練メールを配信し、危機管理意識を高めていただく働きかけを行いました。</p> |  |
| <p>名称：学校法人 淀之水学院 昇陽中学校・高等学校</p> <p>本校では、1 限に「災害メール受信」を実施、「地震対応行動」を説明実施しましたが、例年実施している 6 限の「避難訓練」等については、コロナ禍での訓練ということで、密を避けるために自粛しました。後日改めて「避難訓練」の代替案として、関係機関と「リモート訓練」を計画しております。</p> | |

| | |
|--|---|
| <p>名称：社会福祉法人五風会 認定こども園五風会（幼保連携型認定こども園）</p> <p>乳児クラスは、避難の放送の音で泣き出す子もいましたが、職員の指示のもと机の下に入り防災頭巾をかぶりました。</p> <p>幼児クラスは、毎月の訓練が身につく、避難から園庭移動まで落ち着いて行動できていました。</p> |  |
| <p>名称：社会福祉法人和秀会 東光こども園（幼保連携型認定こども園）</p> <p>毎年、880万人訓練に合わせて、隣にある老人ホームの屋上と、近隣にある中学校まで避難しています。訓練当日は、雨が降っていたため、隣の老人ホームの玄関まで避難しました。</p> <p>お昼は、その日の給食の食材を使ってのお味噌汁と、ラップを使って子ども達におにぎりを握ってもらい、机も椅子もないエントランスで食べました。</p> <p>訓練を通じて、ラップにぎりを作った後は、お皿を汚さないように、そのラップを広げ使うという事、アレルギーの子は自分でアレルギーがあることという事を伝えるように教えています。</p> | |

《 地元自治会、自主防災組織 》 登録数5団体

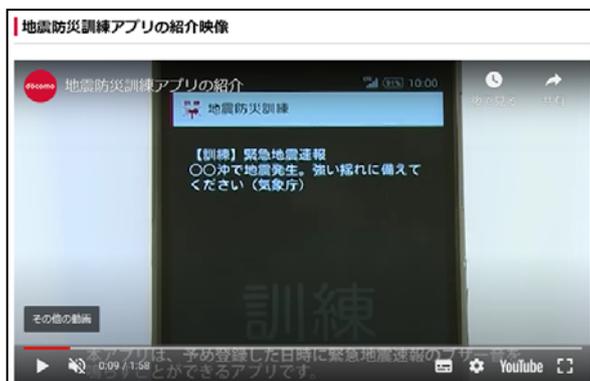
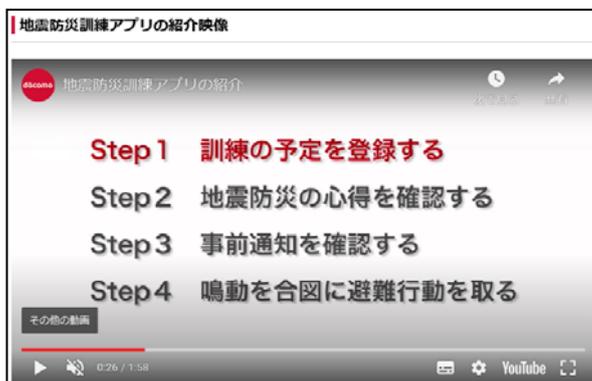
| | |
|--|--|
| <p>名称：Team7043（全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体）</p> <p>Team7043では、訓練合図に合わせてアマチュア無線の電波（439.34MHz FMレピータ & 短波帯 7.050MHz SSB 非常通信周波数）を使って大阪府内局と近隣県&国内局との交信を行いました。</p> <p>また、Web ロールコール（ハッシュタグ#情報、#報告、#支援、#要請）を使いSNSを利用して電文伝達訓練を実施しました。</p> |  |
|--|--|

□ 防災アプリについて

【Yahoo! Japan : 防災トレーニング】



【NTTドコモ：地震防災訓練アプリ】



～ 堺市実施アンケート結果 ～

「第9回大阪880万人訓練」に関する堺市市政モニターアンケート 結果概要

■ 市政モニターアンケートについて

- 1 モニター構成：堺市内在住在勤在学の18歳以上の方で、公募による市政モニター
○eモニター 408人
○郵送モニター 92人 ※合計500人
- 2 調査方法：調査票（回答用紙）への記入、インターネットを通じたアンケート回答
- 3 回収率～調査対象者500人に対し、有効回収数472人 回収率94.4%

■ 主な調査結果

1 事前浸透率（認知率）

- 事前浸透率：69.7%（前回63.2%）
- 事前浸透率（訓練の変更）：33.7%

2 訓練開始合図の覚知率（9時30分）

- 覚知率：53.2%（前回49.0%）
- 媒体・経路：①携帯電話会社の防災訓練アプリ(55.4%)
②屋外スピーカー(33.1%)
③Yahoo!防災速報(23.9%)

3 訓練開始合図後の訓練参加率○参加率：35.1%（前回32.3%）

- 訓練開始後の行動：①地震が起こった時のことを考えてみた。(76.1%)
②テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図った。(21.6%)
③市町村や自治会、職場、学校等が主催する訓練に参加した。(10.2%)
- 連動訓練への参加状況（訓練当日あるいはその前後に避難訓練などの参加）
参加率：10.2%（前回16.1%）
- 訓練内容：①避難訓練(81.3%) ②防災研修(27.1%) ③消火訓練(25.0%)

4 緊急速報メール伝達率（大阪府9時33分及び、堺市9時35分）

伝達率：64.4%（前回63.6%）

5 緊急速報メール配信後の参加率

- 参加率：31.1%（前回36.0%）
- 不参加の理由：①忙しかった／工作中だった／取り込み中だった(58.8%)
②緊急速報メールの着信確認ができればそれでいいと思った／思っていた。(39.5%)
③災害の状況や対応をイメージするだけでも「訓練」となるという認識がなかった。(11.5%)

6 訓練前後の取組・備え

- 訓練を知る前からの備え：①備蓄物資の確認(48.3%)
②津波ハザードマップや防災マップの確認(47.9%)
③「まずは身を守る」の確認(40.0%)
- 訓練をきっかけにした備え：①備蓄物資の確認(38.3%)
②「まずは身を守る」の確認(33.3%)
③津波ハザードマップや防災マップの確認(30.9%)

※ [内容詳細は、資料集参照]

■大阪 880 万人訓練実行委員会

委員長 : 大阪府知事

副委員長 : 大阪市長、堺市長

委員 : 大阪府教育長、大阪府市長会長、大阪府町村長会長、
西日本旅客鉄道株式会社 取締役兼専務執行役員 近畿統括本部長、
西日本電信電話株式会社 大阪支店 設備部長、日本放送協会 大阪放送局長、
K D D I 株式会社 関西総支社長、関西鉄道協会 技術委員会委員長、
関西テレビ放送株式会社 常務取締役、大阪放送株式会社 取締役編成局長、
株式会社 N T T ドコモ 常務執行役員 関西支社長、
ソフトバンク株式会社 総務本部 総務サービス統括部 地域総務部長

大阪府事務局 : 大阪府 危機管理室

大阪市事務局 : 大阪市 危機管理室

堺市事務局 : 堺市 危機管理室